

各位

2019.12.11

愛知中小企業家同友会

副代表理事 宇佐見 孝

労務労働委員長 鈴木 良博

「冬の賞与アンケート」(1143社回答) 結果のご案内

いつもお世話になります。

愛知中小企業家同友会では中小企業の冬の賞与に関するアンケートを行いました。企業ですぐに活用できるよう、業種と正社員数でクロス集計(平均賞与支給額、平均賞与月数)した集計もあります。ご参照頂ければ幸いです。

※お問い合わせ等は事務局までご連絡下さい。

- テーマ：「2019 冬の賞与アンケート」
- 主 催：愛知中小企業家同友会
- 期 間：11月18日(月)～11月27日(水)
- 回答数：1143社(建設：202社、製造：233社、
流通・商業291社、サービス：417社)

☆平均賞与

- ◎全体 312,962円(▲40,056)
- ◎建設業 331,061円(▲61,246)
- ◎製造業 301,250円(▲48,419)
- ◎流通・商業 323,765円(▲59,712)
- ◎サービス業 303,935円(▲21,984)

☆特徴

- ◎賞与を支給する会社は、70%と昨年から7%減少
 - ・業種別の支給割合では製造業が91%から81%と10%、流通・商業は76%から67%と9%減、建設業とサービス業は微減という結果となった。
- ◎賞与支給額は「増加」が28%「減少」が14%
 - ・製造業で「増加」が23%で昨年の40%から大幅に低下し、「減少した」が15%から24%と9%増、「昨年並み」は53%で8%ほど増加した。
- ◎支給平均金額 312,962円
 - ・すべての業種で昨年冬の平均支給額を下回る。
 - ・支給額では、「30～40万円未満」の割合が増加。
 - ・正社員規模別では、すべての規模で昨年の支給額から下回り、とりわけ「1～4」「5～9人」は5万円以上の大幅な減額となった。
- ◎賞与支給月数は「1ヶ月～2ヶ月未満」が昨年に引き続き過半を占める。
 - ・建設業では「2ヶ月～3ヶ月未満」の割合が減り、「1ヶ月～2ヶ月未満」が増加。
- ◎小規模企業ほど平成30年度民間給与実態統計調査(国税庁)の平均を上回る。
※算出方法が違うため参考値とする※

賞与を「支給する」と回答したのは70%と昨年の同調査から7%減少しました。業種別に見ると、昨年はいちばん支給割合の高かった製造業が、91%から81%と10%減、「検討中又は未定」と回答する企業が4%から19%と増加して高い結果となりました。他方、支給額ごとの状況を見てみると、昨年調査では「20～30万円未満」がボリュームゾーンだったのに対し、今回調査では「30～40万円未満」がボリュームゾーンに。一見、中小企業の業況の好転とも取れることもできますが、注意が必要です。「40～50万円未満」「50～60万円未満」「60～70万円未満」「70万円以上」がすべて割合を縮小させていることから、これまでの支給額上位企業が支給額を減額した結果のボリュームゾーンの上方移行と考えられます。また同時に、支給額下位の企業割合の縮小も生じていることから、人手不足や志気向上、人材の引き留めなどへの経営努力がうかがえます。

総じて、先行き不透明感がさらに増すなかで、全体的に賞与の支給に対して慎重な企業姿勢と、厳しいなかでも最大限の努力を払う中小企業の奮闘が交錯した結果と言えます。

賞与支給額は「増加」が28%（昨年調査36%）、「減少」が13%（昨年調査10%）、「昨年並み」が58%（昨年調査54%）となり、支給平均額は312,962円で、昨年冬の支給額を40,056円下回りました。

平均賞与支給額を正社員数と、業種ごとにクロス集計し、昨年の同調査と比較したところ、最も多く支給額を増やした建設業が大幅に減額（+63,891円→▲61,246円）となり、規模別（正社員数）では「30～49人」を除き、すべて減少しました。

記述回答では、「原資の無いなかでやり繰りは大変だが、社員あつての会社なので多少無理しても支給しなければと思う」（建設業）、「売上がなかなか上がらない中、頑張っている社員にはなんとか報いたいと思っている」（製造業）、「社員はあてにしているので、無しというわけにはいかない。先行き不安もあるが支払う」（流通・商業）、「人の確保と仕事量のバランスが崩れてきている」（サービス業）などの声が寄せられました。

今回の調査からは深刻な人材不足とともに、今年4月から中小企業へも一部適用が開始された「働き方改革関連法」による労働時間の削減や休日の確保への対応、10月からの消費増税による影響も見られました。これまでと同じように雇用確保や士気向上、原資が少ないなかで社員への感謝という思いで賞与を支給する中小企業経営者の努力が伝わります。「増税による受注減で働き方改革が実行できているという皮肉な状況」「金額を上げたいが働き方改革で一人当たりの生産性が低下して金額を維持することすら大変。社員からも残業を減らして月給が下がる中で賞与も下がるのはどうかという声もある」という中小企業経営者の苦痛な胸の内が出されました。

企業の大多数は中小企業であること、そこで働く人も7割いることを真に受け止め、業種や企業規模問わず安心して働ける給与の目指す姿を、私達自身がしっかりと議論してリードしていく必要があります。

2016年夏～2019年夏 賞与支給額の経過比較

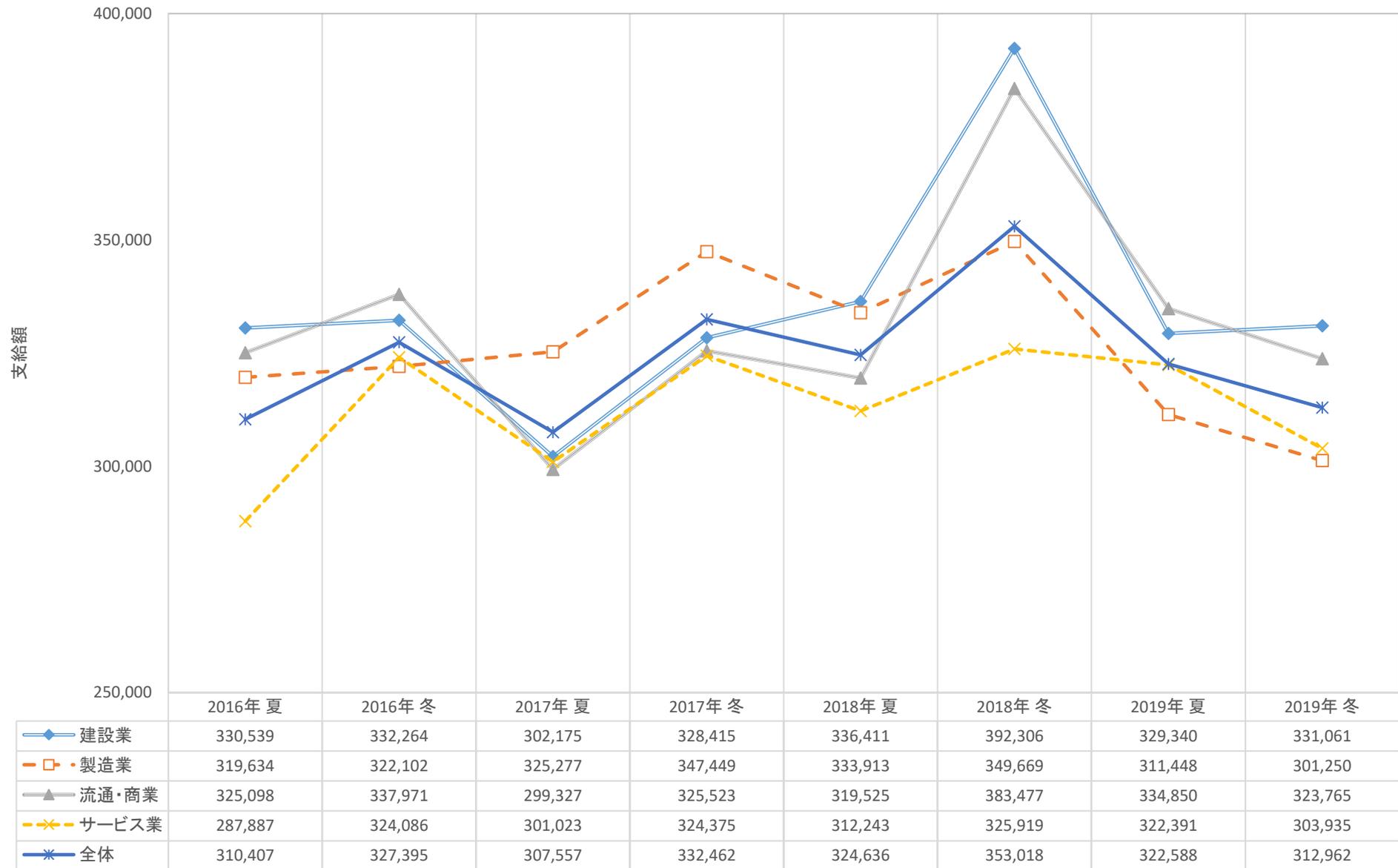
1)業種×正社員×平均賞与支給額(円)

		1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	総計
建設業	2019年冬	276,000	315,941	396,250	363,750	416,667	350,000	670,000	331,061
	回答数(社)	33	34	22	5	5	2	1	102
	2019年夏	290,526	336,093	345,167	318,000	376,667	366,500	440,000	329,340
	回答数(社)	19	27	20	5	3	3	2	79
	2018年冬	370,348	425,389	354,333	527,667	416,667			392,306
	回答数(社)	23	18	15	3	3			62
	2018年夏	254,971	329,476	426,087	381,500	378,750	548,000	352,000	336,411
	回答数(社)	34	21	23	6	8	1	2	95
	2017年冬	325,069	350,625	306,923	226,667	383,333		490,000	328,415
	回答数(社)	29	16	13	3	3		1	65
	2017年夏	246,477	302,424	389,278	276,727	365,000	300,000		302,175
	回答数(社)	30	33	18	11	6	1		99
	2016年冬	252,122	338,400	371,848	432,200	352,000	409,000	600,000	332,264
	回答数(社)	41	50	33	10	5	4	1	144
2016年夏	295,652	302,667	351,583	392,000	291,600	481,250		330,539	
回答数(社)	23	15	24	5	5	4		76	
製造業	2019年冬	236,444	272,026	332,031	315,375	333,238	341,545	340,400	301,250
	回答数(社)	26	21	30	12	17	8	1	115
	2019年夏	347,460	305,357	280,470	316,000	288,375	314,340	416,167	311,448
	回答数(社)	21	28	31	19	17	10	7	133
	2018年冬	345,833	314,962	331,680	376,762	347,789	340,769	545,800	349,669
	回答数(社)	12	26	25	21	19	13	5	121
	2018年夏	309,737	338,000	278,464	345,009	297,000	438,583	515,667	333,913
	回答数(社)	19	30	28	22	19	12	6	136
	2017年冬	291,333	324,318	358,633	311,647	413,636	353,403	555,000	347,449
	回答数(社)	15	22	30	17	11	11	4	110
	2017年夏	288,900	317,032	383,889	273,105	287,708	367,636	490,800	325,277
	回答数(社)	20	31	27	19	24	11	5	137
	2016年冬	294,063	297,026	350,650	304,313	323,536	312,769	456,250	322,102
	回答数(社)	32	38	50	32	28	13	8	201
2016年夏	315,667	313,000	330,297	348,813	258,371	309,258	401,333	319,634	
回答数(社)	15	19	37	16	17	12	6	122	
流通・商業	2019年冬	279,054	298,154	345,958	311,889	409,588	376,500	399,333	323,765
	回答数(社)	55	30	23	11	13	5	4	141
	2019年夏	270,438	347,500	387,333	289,667	485,400	330,625	246,667	334,850
	回答数(社)	16	12	21	16	5	8	3	81
	2018年冬	286,778	383,000	392,200	324,150	440,000	643,333		383,477
	回答数(社)	9	10	20	8	7	3		57
	2018年夏	297,813	269,913	376,120	264,200	345,714	422,500	300,000	319,525
	回答数(社)	16	16	25	15	7	4	2	85
	2017年冬	262,421	339,988	344,895	344,667	440,000	330,000	320,000	325,523
	回答数(社)	19	10	19	6	5	1	1	61
	2017年夏	270,991	296,944	343,476	293,615	313,333	333,500	244,000	299,327
	回答数(社)	32	18	21	13	9	4	3	100
	2016年冬	297,375	386,567	331,667	250,526	403,846	431,500	366,667	337,971
	回答数(社)	24	30	22	19	13	4	3	115
2016年夏	243,318	350,889	366,750	298,300	379,893	233,000	307,500	325,098	
回答数(社)	11	18	16	10	7	3	4	69	
サービス業	2019年冬	277,410	304,410	278,831	429,333	419,000	306,500	350,000	303,935
	回答数(社)	90	50	21	5	8	7	2	183
	2019年夏	317,039	287,139	344,727	353,938	245,974	509,667	361,000	322,391
	回答数(社)	52	36	23	16	10	7	4	148
	2018年冬	313,510	332,244	324,167	366,923	336,818	305,000	301,750	325,919
	回答数(社)	51	32	24	13	11	4	4	139
	2018年夏	281,803	304,045	356,534	330,857	291,125	356,000	321,300	312,243
	回答数(社)	61	22	32	14	8	10	10	157
	2017年冬	295,289	348,313	364,183	272,556	411,209	361,400	240,000	324,375
	回答数(社)	45	26	24	9	5	5	5	119
	2017年夏	272,492	291,206	308,355	333,249	408,750	349,444	350,700	301,023
	回答数(社)	61	34	31	15	4	9	10	164
	2016年冬	275,573	318,543	349,457	415,130	374,167	291,175	452,333	324,086
	回答数(社)	89	70	46	23	6	12	12	258
2016年夏	265,609	286,797	269,448	315,095	318,164	301,909	385,975	287,887	
回答数(社)	46	37	34	21	6	11	8	163	
総計	2019年冬	271,357	298,116	334,803	346,704	382,426	342,103	390,571	312,962
	回答数(社)	204	135	96	33	43	22	8	541
	2019年夏	311,333	312,448	332,887	320,036	312,669	368,438	366,154	322,588
	回答数(社)	108	103	95	56	35	28	16	441
	2018年冬	328,821	352,416	347,988	374,627	366,075	379,000	437,333	353,018
	回答数(社)	95	86	84	45	40	20	9	379
	2018年夏	280,838	315,355	355,640	324,109	319,571	409,667	380,550	324,636
	回答数(社)	130	89	108	57	42	27	20	473
	2017年冬	296,954	340,554	349,330	299,971	414,835	354,378	384,545	332,462
	回答数(社)	108	74	86	35	24	17	11	355
	2017年夏	268,993	302,190	352,000	293,944	315,116	352,920	371,833	307,557
	回答数(社)	143	116	97	58	43	25	18	500
	2016年冬	276,398	330,330	352,153	337,714	352,192	330,973	449,083	327,395
	回答数(社)	186	188	151	84	52	33	24	718
2016年夏	278,205	308,028	321,516	329,635	297,672	321,870	373,656	310,407	
回答数(社)	95	89	111	52	35	30	18	430	

2019年冬-2016年夏	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上
	-6,848	-9,912	13,287	17,069	84,754	20,233	16,915

2019年冬-2016年夏	建設業	製造業	流通・商業	サービス業	総計
	522	-18,384	-1,333	16,048	2,555

賞与支給額の変化（2016年夏以降）



2019年・2018年・2017年 冬賞与支給額の比較

1)業種×正社員×平均賞与支給額

※前回調査から2割以上変わった個所については下線部で示した

		1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100人以上	総計
建設業	2019年支給額(円)	276,000	315,941	396,250	363,750	416,667	350,000	670,000	331,061
	回答数(社)	33	34	22	5	5	2	1	102
	2018年支給額(円)	370,348	425,389	354,333	527,667	416,667			392,306
	回答数(社)	23	18	15	3	3			62
	2017年支給額(円)	325,069	350,625	306,923	226,667	383,333		490,000	328,415
	回答数(社)	29	16	13	3	3		1	65
製造業	2019年支給額(円)	236,444	272,026	332,031	315,375	333,238	341,545	340,400	301,250
	回答数(社)	26	21	30	12	17	8	1	115
	2018年支給額(円)	345,833	314,962	331,680	376,762	347,789	340,769	545,800	349,669
	回答数(社)	12	26	25	21	19	13	5	121
	2017年支給額(円)	291,333	324,318	358,633	311,647	413,636	353,403	555,000	347,449
	回答数(社)	15	22	30	17	11	11	4	110
流通業	2019年支給額(円)	279,054	298,154	345,958	311,889	409,588	376,500	399,333	323,765
	回答数(社)	55	30	23	11	13	5	4	141
	2018年支給額(円)	286,778	383,000	392,200	324,150	440,000	643,333		383,477
	回答数(社)	9	10	20	8	7	3		57
	2017年支給額(円)	262,421	339,988	344,895	344,667	440,000	330,000	320,000	325,523
	回答数(社)	19	10	19	6	5	1	1	61
サービス業	2019年支給額(円)	277,410	304,410	278,831	429,333	419,000	306,500	350,000	303,935
	回答数(社)	90	50	21	5	8	7	2	183
	2018年支給額(円)	313,510	332,244	324,167	366,923	336,818	305,000	301,750	325,919
	回答数(社)	51	32	24	13	11	4	4	139
	2017年支給額(円)	295,289	348,313	364,183	272,556	411,209	361,400	240,000	324,375
	回答数(社)	45	26	24	9	5	5	5	119
総計	2019年支給額(円)	271,357	298,116	334,803	346,704	382,426	342,103	390,571	312,962
	回答数(社)	204	135	96	33	43	22	8	541
	2018年支給額(円)	328,821	352,416	347,988	374,627	366,075	379,000	437,333	353,018
	回答数(社)	95	86	84	45	40	20	9	379
	2017年支給額(円)	296,954	340,554	349,330	299,971	414,835	354,378	384,545	332,462
	回答数(社)	108	74	86	35	24	17	11	355

2019年-2018年	1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100人以上
	-57,464	-54,300	-13,185	-27,923	16,351	-36,897	-46,762

2019年-2018年	建設業	製造業	流通・商業	サービス業	総計
	-61,246	-48,419	-59,712	-21,984	-40,056

(参考)2019年・2018年・2017年 冬賞与支給額と民間給与実態調査(2018年)の比較

1)業種×正社員×平均賞与支給額

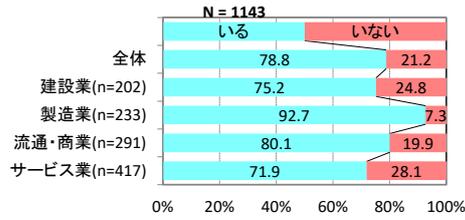
	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	総計
2019年支給額(円)	271,357	298,116	334,803	346,704	382,426	342,103	390,571	312,962
回答数(社)	226	156	116	42	46	24	12	622
2018年支給額(円)	328,821	352,416	347,988	374,627	366,075	379,000	437,333	353,018
回答数(社)	95	86	84	45	40	20	9	379
2017年支給額(円)	296,954	340,554	349,330	299,971	414,835	354,378	384,545	332,462
回答数(社)	108	74	86	35	24	17	11	355
【参考】民間給与実態統計調査 ～2018年(円) ※年間支給額	159,000	281,000	442,000	627,000		737,000	697,000	
上記×1/2	79,500	140,500	221,000	313,500		368,500	348,500	
同友会の結果との比較(2018年)	414%	251%	163%	119%		119%	101%	

※100～499人の結果を表示

Q1. 従業員の有無 × 業種

業種	上段:度数 下段:%	従業員の有無		
		合計	いる	いない
全体	1143 100.0	901 78.8	242 21.2	
建設業	202 100.0	152 75.2	50 24.8	
製造業	233 100.0	216 92.7	17 7.3	
流通・商業	291 100.0	233 80.1	58 19.9	
サービス業	417 100.0	300 71.9	117 28.1	

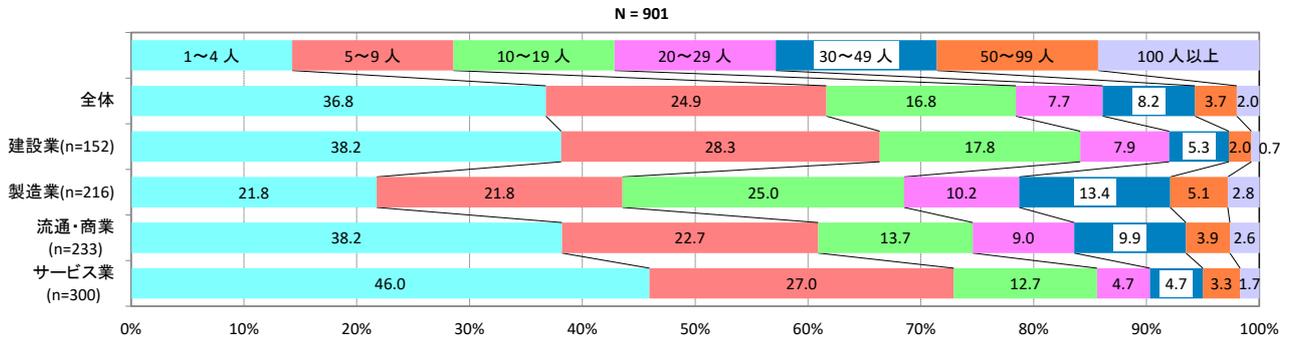
(グラフ1) 従業員の有無 × 業種



Q2. 正社員数 × 業種

業種	上段:度数 下段:%	正社員数							
		合計	1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100人以上
全体	901 100.0	332 36.8	224 24.9	151 16.8	69 7.7	74 8.2	33 3.7	18 2.0	
建設業	152 100.0	58 38.2	43 28.3	27 17.8	12 7.9	8 5.3	3 2.0	1 0.7	
製造業	216 100.0	47 21.8	47 21.8	54 25.0	22 10.2	29 13.4	11 5.1	6 2.8	
流通・商業	233 100.0	89 38.2	53 22.7	32 13.7	21 9.0	23 9.9	9 3.9	6 2.6	
サービス業	300 100.0	138 46.0	81 27.0	38 12.7	14 4.7	14 4.7	10 3.3	5 1.7	

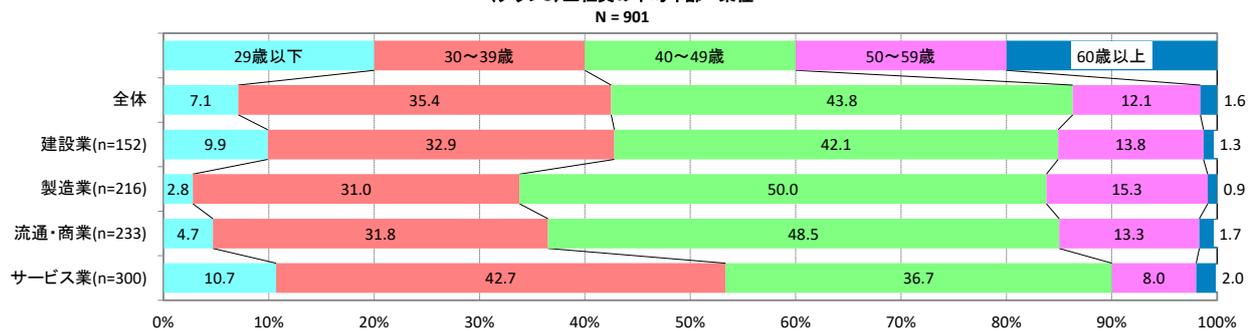
(グラフ2) 正社員数 × 業種



Q3. 正社員の平均年齢 × 業種

業種	上段:度数 下段:%	正社員の平均年齢				
		合計	29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳
全体	901 100.0	64 7.1	319 35.4	395 43.8	109 12.1	14 1.6
建設業	152 100.0	15 9.9	50 32.9	64 42.1	21 13.8	2 1.3
製造業	216 100.0	6 2.8	67 31.0	108 50.0	33 15.3	2 0.9
流通・商業	233 100.0	11 4.7	74 31.8	113 48.5	31 13.3	4 1.7
サービス業	300 100.0	32 10.7	128 42.7	110 36.7	24 8.0	6 2.0

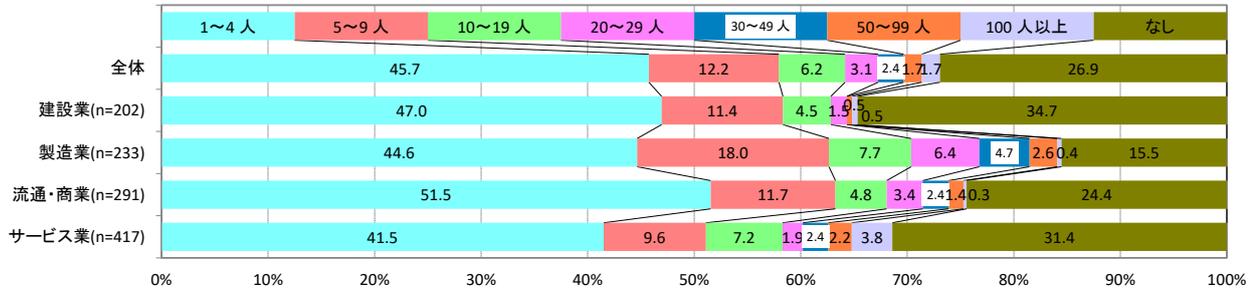
(グラフ3) 正社員の平均年齢 × 業種



Q4. 非正規社員数 × 業種

業種	上段:度数 下段:%	非正規社員数								
		合計	1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100人以上	なし
全体	1143 100.0	522 45.7	139 12.2	71 6.2	36 3.1	28 2.4	20 1.7	19 1.7	308 26.9	
建設業	202 100.0	95 47.0	23 11.4	9 4.5	3 1.5	-	1 0.5	1 0.5	70 34.7	
製造業	233 100.0	104 44.6	42 18.0	18 7.7	15 6.4	11 4.7	6 2.6	1 0.4	36 15.5	
流通・商業	291 100.0	150 51.5	34 11.7	14 4.8	10 3.4	7 2.4	4 1.4	1 0.3	71 24.4	
サービス業	417 100.0	173 41.5	40 9.6	30 7.2	8 1.9	10 2.4	9 2.2	16 3.8	131 31.4	

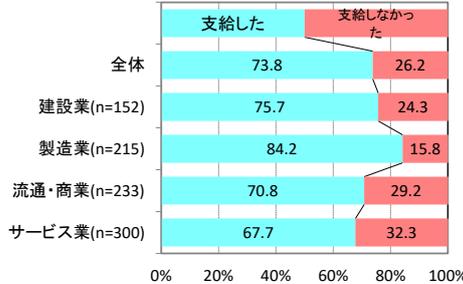
(グラフ4)非正規社員数 × 業種
N = 1143



Q5. 夏賞との支給 × 業種

業種	上段:度数 下段:%	夏賞との支給(カッコは前回結果)	
		合計	支給した 支給しなかった
全体	900(609) 100.0	664(490) 73.8(80.5)	236(119) 26.2(19.5)
建設業	152(110) 100.0	115(87) 75.7(79.1)	37(23) 24.3(20.9)
製造業	215(169) 100.0	181(155) 84.2(91.7)	34(14) 15.8(8.3)
流通・商業	233(93) 100.0	165(77) 70.8(82.8)	68(16) 29.2(17.2)
サービス業	300(237) 100.0	203(171) 67.7(72.2)	97(66) 32.3(27.8)

(グラフ5)夏賞との支給 × 業種
N = 900

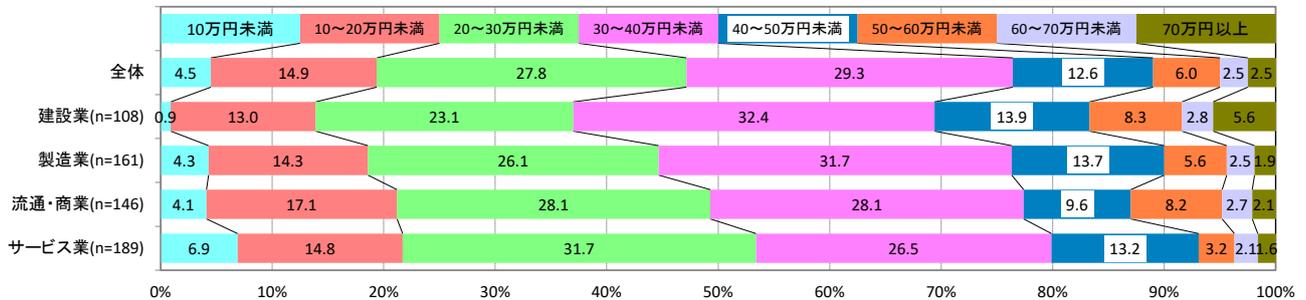


(グラフ5)
昨年夏から比べると、全体で「支給した」割合が減少(80.5→73.8)し、「支給しなかった」企業が増加(19.5→26.2)した。特に、「支給した」企業が製造業では7.5%減(91.7→84.2)、流通・商業では12%減(82.8→70.8)、サービス業では4.5%減(72.2→67.7)となった。
(グラフ6)

Q6. 夏賞との支給額 × 業種

業種	上段:度数 下段:%	夏賞との支給額(カッコは前回結果)							
		合計	10万円未満	10~20万円未満	20~30万円未満	30~40万円未満	40~50万円未満	50~60万円未満	60~70万円未満
全体	604(372) 100.0	27(2) 4.5(0.5)	90(59) 14.9(15.9)	168(108) 27.8(29.0)	177(95) 29.3(25.5)	76(55) 12.7(14.8)	36(25) 6.0(6.7)	15(17) 2.5(4.6)	15(11) 2.5(3.0)
建設業	108(62) 100.0	1(1) 0.9(1.6)	14(9) 13.0(14.5)	25(18) 23.1(21.0)	35(13) 32.4(21.0)	15(11) 14.0(17.7)	9(4) 8.3(6.5)	3(3) 2.8(4.8)	6(3) 5.6(4.8)
製造業	161(119) 100.0	7(1) 4.3(0.8)	23(14) 14.3(11.8)	42(36) 26.1(30.3)	51(36) 31.7(30.3)	22(16) 13.7(13.4)	9(9) 5.6(7.6)	4(4) 2.5(3.4)	3(3) 1.9(2.5)
流通・商業	146(57) 100.0	6(-) 4.1(-)	25(11) 17.1(19.3)	41(10) 28.1(17.5)	41(13) 28.1(22.8)	14(12) 9.6(21.1)	12(6) 8.2(10.5)	4(4) 2.7(7.0)	3(1) 2.1(1.8)
サービス業	189(134) 100.0	13(-) 6.9(-)	28(25) 14.8(18.7)	60(44) 31.7(32.8)	50(33) 26.5(24.6)	25(16) 13.2(11.9)	6(6) 3.2(4.5)	4(6) 2.1(4.5)	3(4) 1.6(3.0)

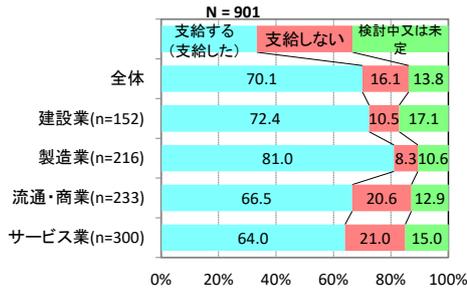
(グラフ6)夏賞との支給額 × 業種
N = 604



Q7. 冬賞与の支給 × 業種

上段:度数		冬賞与の支給(カッコは前回結果)			
下段:%		合計	支給する (支給した)	支給しない	検討中 又は未定
業種	全体	901(608)	632(465)	145(73)	124(70)
		100.0	70.1(76.5)	16.1(12.0)	13.8(11.5)
	建設業	152(109)	110(82)	16(9)	26(18)
		100.0	72.4(75.2)	10.5(8.3)	17.1(16.5)
	製造業	216(168)	175(152)	18(9)	23(7)
		100.0	81.0(90.5)	8.3(5.4)	10.6(4.2)
流通・商業	233(93)	155(71)	48(12)	30(10)	
	100.0	66.5(76.3)	20.6(12.9)	12.9(10.8)	
サービス業	300(238)	192(160)	63(43)	45(35)	
	100.0	64.0(67.2)	21.0(18.1)	15.0(14.7)	

(グラフ7) 冬賞与の支給 × 業種



(グラフ7)

製造業で「支給する」と回答した企業の割合が9.5% (90.5→81.0) 減少し、「支給しない」が2.9% (5.4→8.3) 増、「検討中又は未定」が6.4% (4.2→10.6) 増、また流通・商業も「支給する」割合が9.8% (76.3→66.5) 減少、「支給しない」割合が2.9% (5.4→8.4) 増加し、全体で「支給する」と回答した企業の割合が減少した。製造業減速の影響が流通・商業にも波及してきているのか。

Q8. 賞与の支給方法 × 業種 × 業種

上段:度数		賞与の支給方法				
下段:%		合計	給与連動式(基本給などに対して支給率を決めたもの)	業績連動式(組織の業績や個人の業績に応じたもの)	全員一律の金額(賞与の全額又は一部)	労使交渉(社員との話し合いを含む)
業種	全体	618	276	296	30	16
		100.0	44.7	47.9	4.9	2.6
	建設業	110	37	63	5	5
		100.0	33.6	57.3	4.5	4.5
	製造業	169	83	78	4	4
		100.0	49.1	46.2	2.4	2.4
流通・商業	152	66	76	7	3	
	100.0	43.4	50.0	4.6	2.0	
サービス業	187	90	79	14	4	
	100.0	48.1	42.2	7.5	2.1	

(グラフ8) 賞与の支給方法 × 業種



Q9. 賞与額の主な計算基準 × 業種

上段:度数		賞与額の主な計算基準			
下段:%		合計	定額金額	〇カ月計算	査定評価
業種	全体	614	100	248	266
		100.0	16.3	40.4	43.3
	建設業	107	20	34	53
		100.0	18.7	31.8	49.5
	製造業	170	29	71	70
		100.0	17.1	41.8	41.2
流通・商業	151	20	61	70	
	100.0	13.2	40.4	46.4	
サービス業	186	31	82	73	
	100.0	16.7	44.1	39.2	

(グラフ9) 賞与額の主な計算基準 × 業種



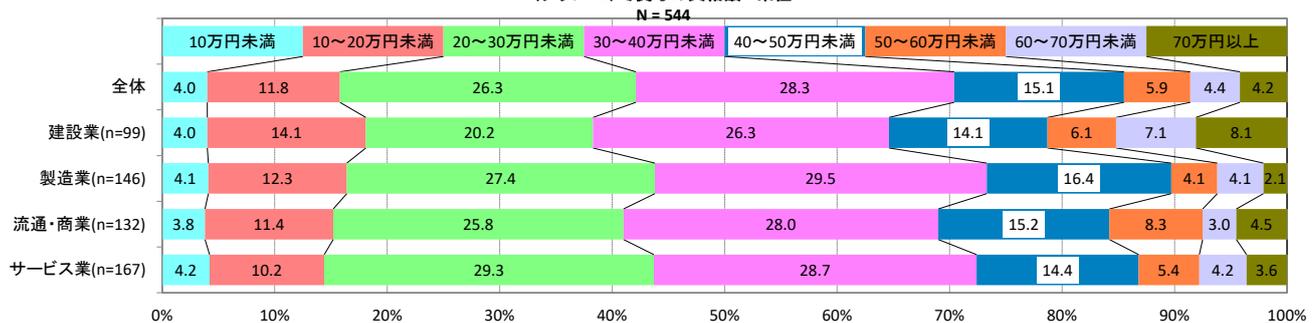
Q10. 冬賞与の支給額 × 業種

上段:度数		冬賞与の支給額(カッコは前回結果)									
下段:%		合計	10万円未満	10~20万円未満	20~30万円未満	30~40万円未満	40~50万円未満	50~60万円未満	60~70万円未満	70万円以上	
業種	全体	544(382)	22(3)	64(46)	143(107)	154(93)	82(60)	32(31)	24(23)	23(19)	
		100.0	4.0(0.8)	11.8(12.0)	26.3(28.0)	28.3(24.3)	15.1(15.7)	5.9(8.1)	4.4(6.0)	4.2(5.0)	
	建設業	99(64)	4(2)	14(7)	20(17)	26(12)	14(7)	6(5)	7(9)	8(5)	
		100.0	4.0(3.1)	14.1(10.9)	20.2(26.6)	26.3(18.8)	14.1(10.9)	6.1(7.8)	7.1(14.1)	8.1(7.8)	
	製造業	146(122)	6(1)	18(13)	40(36)	43(32)	24(16)	6(13)	6(6)	3(5)	
		100.0	4.1(0.8)	12.3(10.7)	27.4(29.5)	29.5(26.2)	16.4(13.1)	4.1(10.7)	4.1(4.9)	2.1(4.1)	
流通・商業	132(57)	5(-)	15(4)	34(16)	37(11)	20(14)	11(5)	4(3)	6(4)		
	100.0	3.8(-)	11.4(7.0)	25.8(28.1)	28.0(19.3)	15.2(24.6)	8.3(8.8)	3.0(5.3)	4.5(7.0)		
サービス業	167(139)	7(-)	17(22)	49(38)	48(38)	24	9(8)	7(5)	6(5)		
	100.0	4.2(-)	10.2(15.8)	29.3(27.3)	28.7(27.3)	14.4(16.5)	5.4(5.8)	4.2(3.6)	3.6(3.6)		

(グラフ10)

建設業は「30~40万円未満」の割合が7.5% (18.8→26.3) 増加。製造業では「50~60万円未満」の割合が6.6% (10.7→4.1) 減少し、それ以下の割合が増加の傾向。流通・商業は「40~50万円未満」が9.4% (24.6→15.2) 減少し、「30~40万円未満」が8.7% (19.3→28.0) 増加した。これにより、全体的に「30~40万円未満」を境目にそれより多い額の割合は減少、低い額の割合は増加の傾向。

(グラフ10) 冬賞与の支給額 × 業種



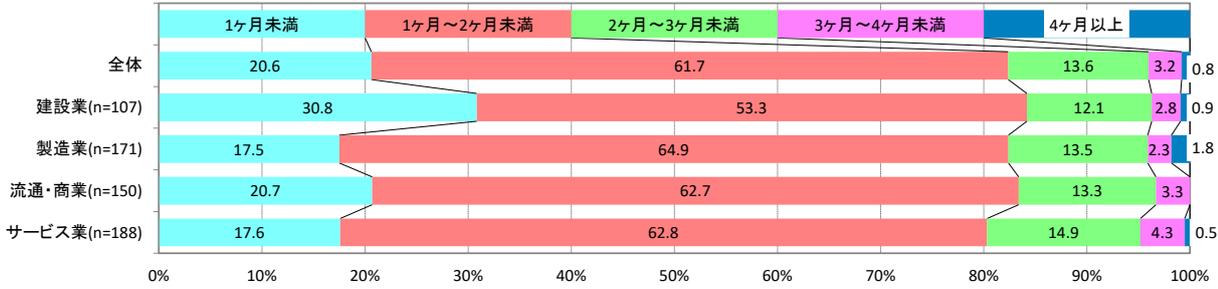
Q11. 賞与支給月数 × 業種

業種	上段:度数 下段:%	賞与支給月数(カッコは前回結果)				
		合計	1ヶ月未満	1ヶ月~2ヶ月未満	2ヶ月~3ヶ月未満	3ヶ月~4ヶ月未満
全体	616(370) 100.0	127(78) 20.6(21.1)	380(214) 61.7(57.8)	84(68) 13.6(18.4)	20(7) 3.2(1.9)	5(3) 0.8(0.8)
建設業	107(68) 100.0	33(23) 30.8(33.8)	57(29) 53.3(42.6)	13(14) 12.1(20.6)	3(1) 2.8(1.5)	1(1) 0.9(1.5)
製造業	171(120) 100.0	30(19) 17.5(15.8)	111(75) 64.9(62.5)	23(24) 13.5(20.0)	4(2) 2.3(1.7)	3(-) 1.8(-)
流通・商業	150(57) 100.0	31(10) 20.7(17.5)	94(31) 62.7(54.4)	20(13) 13.3(22.8)	5(1) 3.3(1.8)	- (2) -(3.5)
サービス業	188(125) 100.0	33(26) 17.6(20.8)	118(79) 62.8(63.2)	28(17) 14.9(13.6)	8(3) 4.3(2.4)	1(-) 0.5(-)

(グラフ11)

全体的に「2ヶ月~3ヶ月未満」の割合が4.8% (18.4→13.6)減少、「1ヶ月~2ヶ月未満」が3.9% (57.8→61.7)増と下方ヘシフトする傾向。
とりわけ、建設業では「2ヶ月~3ヶ月未満」の割合が8.5% (20.6→12.1)減、「1ヶ月~2ヶ月未満」が10.7%増 (42.6→53.3)となった。
製造業でも「2ヶ月~3ヶ月未満」の割合が6.5% (20.0→13.5)減少し、「1ヶ月~2ヶ月未満」「1ヶ月未満」がそれぞれ微増した。
流通・商業は「2ヶ月~3ヶ月未満」の割合が9.5%減少 (22.8→13.3)、「1ヶ月~2ヶ月未満」が8.3%増加 (54.4→62.7)。

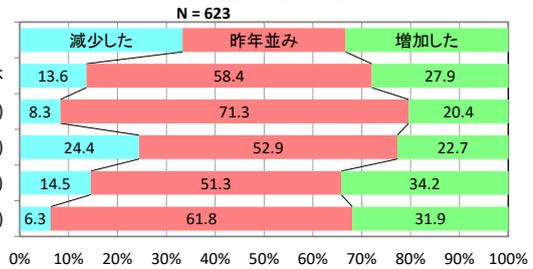
(グラフ11)賞与支給月数 × 業種
N = 616



Q12. 昨年冬の金額と比較 × 業種

業種	上段:度数 下段:%	昨年冬の金額と比較(カッコは前回結果)			
		合計	減少した	昨年並み	増加した
全体	623(456) 100.0	85(48) 13.6(10.5)	364(245) 58.4(53.7)	174(163) 27.9(35.7)	
建設業	108(81) 100.0	9(5) 8.3(6.2)	77(59) 71.3(72.8)	22(17) 20.4(21.0)	
製造業	172(149) 100.0	42(22) 24.4(14.8)	91(67) 52.9(45.0)	39(60) 22.7(40.3)	
流通・商業	152(70) 100.0	22(7) 14.5(10.0)	78(36) 51.3(51.4)	52(27) 34.2(38.6)	
サービス業	191(156) 100.0	12(14) 6.3(9.0)	118(83) 61.8(53.2)	61(59) 31.9(37.8)	

(グラフ12)昨年冬の金額と比較 × 業種



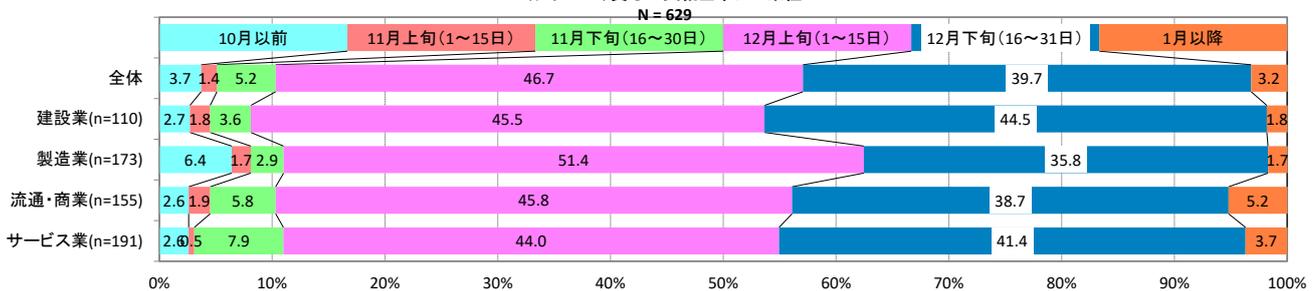
Q13. 賞与の支給基準日 × 業種

業種	上段:度数 下段:%	賞与の支給基準日					
		合計	10月以前	11月上旬(1~15日)	11月下旬(16~30日)	12月上旬(1~15日)	12月下旬(16~31日)
全体	629	23	9	33	294	250	20
建設業	110	3	2	4	50	49	2
製造業	173	11	3	5	89	62	3
流通・商業	155	4	3	9	71	60	8
サービス業	191	5	1	15	84	79	7

(グラフ13)

全体的に「増加した」と回答する企業の割合が減少 (35.7→27.9)し、「昨年並み」と答える企業の割合が増加 (53.7→58.4)した。
とりわけ、製造業は「増加した」企業が17.6% (40.3→22.7)減、「昨年並み」企業が7.9%増 (45.0→52.9)増、「減少した」企業は9.6% (14.8→24.4)増となった。

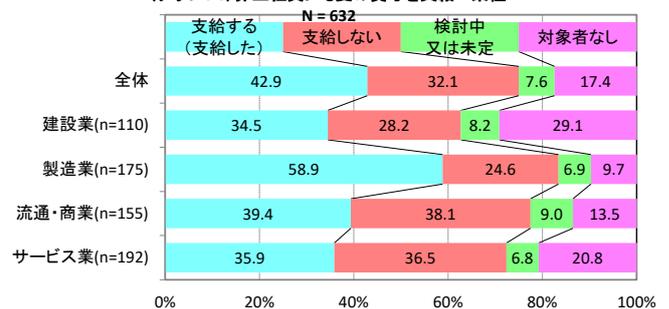
(グラフ13)賞与の支給基準日 × 業種



Q14. 非正社員にも夏の賞与を支給 × 業種

業種	上段:度数 下段:%	非正社員にも夏の賞与を支給			
		合計	支給する(支給し)	支給しない	検討中又は未定
全体	632	271	203	48	110
建設業	110	38	31	9	32
製造業	175	103	43	12	17
流通・商業	155	61	59	14	21
サービス業	192	69	70	13	40

(グラフ14)非正社員にも夏の賞与を支給 × 業種



No	記述回答	業種	正社員数	賞与の支給
1	社員は当てにしているので、無しというわけにはいかない。先行き不安もあるが、払います。	建設業	5～9人	支給する(支給した)
2	賞与は社員のモチベーションアップや生活給の意味合いもあるのでできる限り支給しています。	建設業	5～9人	支給する(支給した)
3	支給平均額での公表は避けるべき。中央値などのほうがまだまし。	建設業	10～19人	支給する(支給した)
4	人事考課制度の整備が必須	建設業	10～19人	支給する(支給した)
5	大企業との差をどう詰めないとな材が確保出来ない。	建設業	20～29人	支給する(支給した)
6	各業界平均支給額が知りたい	建設業	正社員なし	-
7	各企業の賞与額の決め方が知りたい	建設業	正社員なし	-
8	賞与の意味を理解して欲しい	建設業	正社員なし	-
9	大企業との金額の差がますます違ってくるため、中小には良い人材が来ない	製造業	1～4人	支給する(支給した)
10	大手が下請けの為に経費が増えた分を単価上乘せをするように行政が指導してほしい。	製造業	1～4人	支給する(支給した)
11	可能な限り出してあげたい。	製造業	1～4人	検討中又は未定
12	売上がなかなか上がらない中、頑張っている社員さんには何とか報いたいと思っています	製造業	5～9人	支給する(支給した)
13	次回以降は前年同額を出せないかも	製造業	5～9人	支給する(支給した)
14	士気向上の為に、なるべく平年並みかそれ以上を出したい。	製造業	5～9人	支給する(支給した)
15	大企業、公務員の平均をメディアで大きく取り上げられると中小企業は苦しいです	製造業	5～9人	支給する(支給した)
16	原資の無い中でやり繰りは大変だが、社員さんあっての会社だから多少無理しても支給しなければと思う。	製造業	5～9人	支給する(支給した)
17	増税による受注減によって、「働き方改革」が実行できているという皮肉な状況で賞与も減少の見込み	製造業	5～9人	支給する(支給した)
18	会社側としても、金額を上げていってあげたいが、働き方改革という名前ばかりの制度のおかげで、一人当たりの生産性が低下する中で金額を維持していくことすら大変。社員の立場からしても、残業を減らして月給が下がる中で、賞与も金額が下がるのはどうかと思うという声もある。	製造業	5～9人	支給する(支給した)
19	今後、現状の支給を維持していくことが、要求事項と現状の乖離を感じ、難しく思う。	製造業	5～9人	支給する(支給した)
20	企業の業績が悪い時(その期が赤字の場合)、それでも賞与を支払っていますか？	製造業	5～9人	検討中又は未定
21	ベースアップは難しいので業績に連動したい	製造業	10～19人	支給する(支給した)
22	生活給として景気不景気関係なく最低賞与を決めている。	製造業	10～19人	支給する(支給した)
23	パートタイマーのボーナスは(寸志程度ですが)人によって決めています。また、税金や社会保障のこともあり、金額があれば喜んでいただけるわけでもないので、とても難しい。	製造業	10～19人	支給する(支給した)
24	人事評価をきちんと制定しているかが重要だと思う	製造業	10～19人	支給する(支給した)
25	賞与だけでなく、給料も含めた支給額が知りたい。	製造業	10～19人	支給する(支給した)
26	賞与を払う余裕がなくなっている。	製造業	10～19人	支給する(支給した)
27	報道による大手企業の賞与額は、報道しないでほしい。報道するなら、中小企業も含めた額、もしくは、大中小で分けて報道してほしいと思います。	製造業	10～19人	支給する(支給した)
28	賞与がでないと社員さんが辞めてしまう	製造業	10～19人	支給する(支給した)
29	賞与を出したいが、利益がなかなか上がらなくて出せない状況です。	製造業	10～19人	検討中又は未定
30	アンケートに回答する会員の社員規模、業種に偏りがみられるので、改善の方法を検討すべき。	製造業	20～29人	支給する(支給した)
31	来年以降が不透明	製造業	30～49人	支給する(支給した)
32	大企業の「過去最高」のニュースは心が折れる。	製造業	30～49人	支給する(支給した)
33	上場企業との差が大きすぎる	製造業	30～49人	支給する(支給した)
34	支給原資が少ない中で社員差を出すべきか悩んでいる	製造業	50～99人	支給する(支給した)
35	年二回夏・冬は年間3か月が基準、計画より利益が出た場合は、三回目として決算賞与を支給。	製造業	100人以上	支給する(支給した)
36	毎年ボーナスを出しているところしかアンケートしていない。実際の低い数字を新聞発表してほしい	製造業	正社員なし	-

No	記述回答	業種	正社員数	賞与の支給
37	業績もあるが、期待料も加味する為、現実的に無理な上乗せをせざるを得ない	情報・流通業	1～4人	支給する(支給した)
38	もっと支払える環境と業績にしたい	情報・流通業	1～4人	支給する(支給した)
39	多く支給したいが、会社に体力がない	情報・流通業	1～4人	支給する(支給した)
40	賞与とやりがい生きがいの関係性をどうつくるか。	情報・流通業	1～4人	支給する(支給した)
41	基本給をもとに業績連動で増減した金額を支給しているが、業績連動であると説明してもらえない金額を決めつけている節がある。業績が上がらなければ増えないということを経営者と社員の双方が理解しあうことはなかなか難しい	情報・流通業	1～4人	支給する(支給した)
42	出せません	情報・流通業	1～4人	支給しない
43	出来ることなら支給したいが、現状では厳しい	情報・流通業	1～4人	支給しない
44	回答のシステムをなんとかしてほしい。完全歩合のため回答に困る	情報・流通業	1～4人	支給しない
45	生活給といいますが、年収で見えていますので、できるだけ出したいと思います	情報・流通業	5～9人	支給する(支給した)
46	業績との本人の能力に合わせ算定しているが、全員が納得するのは難しい。	情報・流通業	5～9人	支給する(支給した)
47	賞与は決算賞与のみとしています	情報・流通業	5～9人	支給しない
48	業績順調なため、昨年同程度	情報・流通業	10～19人	支給する(支給した)
49	制度を日本からなくしたい	情報・流通業	20～29人	支給する(支給した)
50	賞与が生活給にならないように、また算定方法が労使で共有できるように経営者は配慮することが望ましい	情報・流通業	30～49人	支給しない
51	賞与は業績次第だと考えております。	情報・流通業	30～49人	支給しない
52	賞与は社員にとって大きなモチベーションの源泉の一つ。なるべく多く出せるように頑張りたい	情報・流通業	50～99人	支給する(支給した)
53	十分に出したいが、営業利益が伸びないと厳しい。経営努力が未だ必要	情報・流通業	50～99人	支給する(支給した)
54	今年も社員さんに賞与を出すことができてよかったです。	サービス業	1～4人	支給する(支給した)
55	経営が厳しくとも、従業員のモチベーションのために支給は必須	サービス業	1～4人	支給する(支給した)
56	人の確保と仕事量のバランスが崩れてきている	サービス業	1～4人	支給する(支給した)
57	給与に反映させているので賞与は支払わない	サービス業	1～4人	支給しない
58	利益が大きく出ていないので出すとしても数万円程度しか支給できない。	サービス業	1～4人	検討中又は未定
59	たくさん支給できるように業績拡大に努力します。	サービス業	1～4人	検討中又は未定
60	業績が悪くても賞与は出す様にする	サービス業	5～9人	支給する(支給した)
61	半期で利益が大きく出たらだしてあります	サービス業	5～9人	支給する(支給した)
62	もっと出してあげたい	サービス業	5～9人	支給する(支給した)
63	いくら以上が賞与と呼べるのかわからない	サービス業	5～9人	検討中又は未定
64	支給し続けることが当たり前になっている感をもどかしい	サービス業	10～19人	支給する(支給した)
65	130万円の社会保険の扶養内の壁があり、パートさんへは支給を言いづらい	サービス業	10～19人	支給する(支給した)
66	他の会社の支給基準を知りたい。	サービス業	20～29人	支給する(支給した)
67	厳しい経営環境・状況の中での支給は苦渋の決断です。	サービス業	30～49人	支給する(支給した)
68	単純には言えないが、社会的な水準に到達できているか。中小企業だからでは済まされなくなる。	サービス業	正社員なし	-
69	能力給の仕組み作りが大事	サービス業	正社員なし	-

2019年 冬の賞与アンケート調査項目

いつもお世話になります。

この度、中小企業の賞与支給状況を明らかにして、中小企業の実態や会員の皆様の今後の参考資料とするため、冬の賞与に関する調査を行います。ご協力下さい。

- 主催：報道部、労務労働委員会
- 期間：11月18日（月）～27日（水）
- 対象：全会員

Q1、貴社に従業員（パート・アルバイトは除く）はいますか。

- (1) いる (2) いない

Q2、貴社の正社員数（経営者は除く）をお答え下さい。 Q1-①

- (1) 1～4人 (2) 5～9人 (3) 10～19人 (4) 20～29人
(5) 30～49人 (6) 50～99人 (7) 100人以上

Q3、貴社の正社員の平均年齢をお答え下さい。 Q1-①

- (1) 29歳以下 (2) 30～39歳
(3) 40～49歳 (4) 50～59歳 (5) 60歳以上

Q4、貴社のパート・アルバイトなど非正社員や派遣・請負社員の人数をお答え下さい。

- (1) 1～4人 (2) 5～9人 (3) 10～19人 (4) 20～29人
(5) 30～49人 (6) 50～99人 (7) 100人以上 (8) なし

Q5、今年の夏の賞与（役員賞与は除く）を正社員に支給しましたか。 Q1-①

- (1) 支給した (2) 支給しなかった

Q6、今年の夏の賞与（役員賞与は除く）の1人平均賞与支給額（数字のみ記入）をご記入下さい。

（全正社員の賞与支給総額÷正社員数、千円未満を四捨五入）記入例：30万5千円の場合→305000

●記述回答 Q1-①

Q7、今年の冬の賞与（役員賞与は除く）を正社員に支給しますか。（既に支給された方も含む） Q1-①

- (1) 支給する（支給した） (2) 支給しない (3) 検討中又は未定

Q8、賞与支給方法は、どのようにして決めますか。 ●複数回答 Q7-①

- (1) 給与連動式（基本給などに対して支給率を決めたもの）
(2) 業績連動式（組織の業績や個人の業績に応じたもの）

- (3) 全員一律の金額（賞与の全額又は一部）
- (4) 労使交渉（社員との話し合いを含む）
- (5) その他

Q 9、賞与額の主な計算基準をお答え下さい。 ●複数回答 Q7-①

- (1) 定額金額 (2) ○カ月計算
- (3) 査定評価 (4) その他

Q 10、1人平均賞与支給額（数字のみ記入）をご記入下さい。

（全正社員の賞与支給総額÷正社員数、千円未満を四捨五入）記入例：30万5千円の場合→305000

●記述回答 Q7-①

Q 11、1人平均賞与支給月数をお答え下さい。（1人平均賞与支給額÷1人平均所定内賃金）

※所定内賃金は残業代を含まず。 Q7-①

- (1) 1ヶ月未満 (2) 1ヶ月～2ヶ月未満 (3) 2ヶ月～3ヶ月未満 (4) 3ヶ月～4ヶ月未満 (5) 4ヶ月以上

Q 12、1人平均賞与支給額は、昨年冬の金額と比べてどうなりましたか。 Q7-①

- (1) 減少した (2) 昨年並み (3) 増加した

Q 13、賞与の支給（予定）基準日はいつ頃ですか Q7-①

- (1) 10月以前 (2) 11月上旬（1日～15日） (3) 11月下旬（16日～30日） (4) 12月上旬（1日～15日）
- (5) 12月下旬（16日～31日） (6) 1月以降 (7) その他

Q 14、パートやアルバイトなど非正社員にも、今年の冬の賞与を支給しますか。（既に支給された方も含む）

Q7-①

- (1) 支給する（支給した）
- (2) 支給しない
- (3) 検討中又は未定 (4) 対象者なし

Q 15、賞与に関して何かご意見があればお答え下さい。 ●記述回答